

令和元年度文京区アカデミー推進協議会第2回分科会(観光・交流)概要記録

日 時	令和元年11月25日(月) 18:30～20:30
会 場	文京シビックセンター3階 ホール会議室2
出 席 委 員	座長 山田 徹雄(跡見学園女子大学名誉教授) 白井 圭子 関 誠 宮内 秀和 佃 吉一 堀 正孝
欠 席 委 員	小島 えりか
事 務 局	小野アカデミー推進部長 鈴木観光・都市交流担当課長 渡邊アカデミー推進課都市交流担当主査 山本アカデミー推進課観光担当主査
資 料	資料1 令和元年度 国際交流分野事業調査結果A 資料2 令和元年度 国際交流分野事業調査結果B 資料3 平成30年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について 資料4 区民向け調査における分野別目標の重要度と満足度 資料5 平成30年度の事業に対する評価
(議事)	
1 開 会	
2 議 題	<p><u>(1) 平成30年度の事業実施状況の点検と評価について (交流分野)</u></p> <p><u>①分野別目標1 国際理解を育む機会づくり</u></p> <p>資料1と資料3に基づき、分野別目標1 国際理解を育む機会づくりにおける点検と評価について説明。</p> <p>◎英語観光ガイド(No.4)について、申込者に対して実際の参加者が少ないものがある。これをどのように捉えているか。</p> <p>◆申込者に対して参加者が少ないことについて、明確な理由は把握できていないが、直前のキャン説が多いのも事実である。</p> <p>◎国際交流フェスタの参加者のうち外国人が110人、全体の1割であることを多いと捉えるのか。少ないと捉えるのであれば、外国人にピンポイントに情報発信するなど、周知を工夫しなければいけない。</p> <p>◎広報は日本語でしかなされていないので周知されない。企画も外国人の視点が足りない。外国人のニーズに合っているのか検証が必要である。</p> <p>◎文京区の人口比を考えると、参加者のうち1割が外国人なのは十分である。ただ、そもそもニーズが把握されていないので、外国人の実態調査を区として行う必要があると思う。</p> <p>◆国際交流フェスタには若い方が来ており、着物の着付体験は人気である。ただ、書道・茶道を楽しんでもらっているかという疑問である。ターゲットがあいまいになっている。</p> <p>◎外国人の関心は変わりつつある。かつては自分の国のことを発表したい人が多かったが、今はそうではなくなっているように感じる。</p>
◎委員意見	
◆事務局説明	

- ◆日本人と外国人の交流という大きなテーマを掲げてしまっていることも気になるところである。
- ◎海外都市との交流の活性化(No.7)の予算は人数に対して多いように思うが、どのような見込みだったのか。
- ◆予算編成の段階で訪問予定を見込めないことが多いので、予算は多めに組んでいる。
- ◎事業の目的が全般的に抽象的であり、何を目指しているのかが分からない。目的を明確化することが必要なのではないか。
- ◆国際交流フェスタでも指摘されたが、たしかにテーマがない。
- ◎小・中学生の英語力を高めることはよいことだが、たとえば国際交流フェスタで実践を積めるようなことがあってもよいと思う。外国人とのコミュニケーションに臆さない人材を育てていく上では、子どもの頃の経験が必要である。多文化共生社会の実現においても重要であるので、教育の在り方を検討する必要がある。
- ◆ホームステイは人気があるが、受け入れ先が限られており、人数を増やしていく。他の方法を考えないといけないとは思っている。
- ◎区だけで取り組むだけでなく、企業からの協賛を得るなど、工夫をした方がよい。
- ◎国際的にも文京区が教育のまちであることを目指してもよいのではないか。区内の大学にも積極的に取り組んでもらいたい。
- ◎国際化に関しても「文の京」に匹敵するようなアドバルーンが必要だと思う。

②分野別目標2 外国人が快適に過ごせる環境づくり

資料1と資料3に基づき、分野別目標2 外国人が快適に過ごせる環境づくりにおける点検と評価について説明。

- ◎東京大学の留学生寮だが、寮の管理者と文京区との情報交換等はあるのか。
- ◆かなりの入居者数なので、円滑な受け入れのための協議は行っている。
- ◎外国人支援については手厚く取り組んでいると思う。外国人観光客には多言語化は必須であるが、日常生活にまで取り組んでいる点で充実していると思う。
- ◎自動翻訳アプリは、言語によってはかなり優秀である。ただ、そうでない言語は人的な対応が必要だろう。
- ◎外国人居住者を対象としてアンケート調査を行い、何を困っているのかを把握する必要があるのではないか。
- ◆これまで調査を行ったことはないと認識している。
- ◎学校を通じて子どもに聞く、企業を通じて在勤者に聞くなど、さまざまな方法があると思う。
- ◎外国人が多くて困っているという自治体では課題を挙げやすい。あまり課題が出てこないということは、文京区はよくやっているという証拠だろう。
- ◎たしかに他の自治体と比べると、文京区の状況はよいと思う。
- ◆アカデミー推進計画のなかで国際交流分野は、他の分野に比べて事業数が少な

	<p>い。</p> <p>◎文京区と交流のあるのベルリン市ミッテ区は外国人が多いのではないかと。交流関係のなかで対応を教えてもらってもよいのではないかと。</p> <p>◎喫緊の課題になっていない現状なので、時間をかけてやればよいと思う。</p> <p>◎ドイツの都市と姉妹都市であるなら、ドイツ語に対応してもよいのではないかと。多様な言語に対応していると、外国人がSNSで広め、話題になるのではないかと。</p> <p>③横断的施策</p> <p>アカデミー推進計画に基づき、横断的施策における点検と評価について説明。</p> <p>◎東京2020大会に際して国際化に関する取組はあるか。</p> <p>◆大会を担当する部局が事業を持っている。また、ハンドボールやパラリンピックのバドミントンの練習場に、文京スポーツセンターが充てられる。ハンドボールの練習は非公開が前提であり、交流することは難しい。</p> <p>◎マイナーな競技をPRすることを考えてもよいのではないかと。また、盛んな国と交流するということもあり得るかもしれない。</p> <p>◎文京区が推すスポーツはあるのか。例えば区内の大学が強い競技などはあるか。</p> <p>◆区内には大学が多いので、特定の大学を推しにくいところがある。</p> <p>◎国際交流という視点で横断的施策を考えると、外国人労働者を活用しようという発想があるなか、外国人が働きたいと思う国のランキングでは日本はそれほど高くない。快適さを感じていないのかもしれない。</p> <p>◎日本人が外国人を受け入れるマインドがなかったからだろう。</p> <p>◆国際交流の目的が抽象的という指摘があったが、ご指摘の通りだと思う。国際交流フェスタも目的が明確にならない。公金を用いた事業であるため公平性を重んじてしまいがちだが、目玉となるテーマをつくれればと思う。</p> <p>◆国際交流の分野別目標2については、英中韓の翻訳に取り組んでいるが、最近、他自治体では「やさしい日本語」が取り組まれているので、文京区でも考えている。</p> <p>◎「やさしい日本語」はぜひ取り組むべきである。それを用いた情報発信とともに、「やさしい日本語」を習得する機会を提供することも必要だろう。</p> <p>◆スポーツ、観光、国際交流は密接な関係があると認識している。部局内においても、課をまたいで連携して事業を検討・実施する必要があると思う。</p> <p>◎津和野町にも森鷗外記念館があり、ベルリン市ミッテ区と交流している。持続可能な交流のあり方を模索する必要があると思う。また、文京区、津和野町、ミッテ区の三つ巴での交流ができればと思う。</p> <p>(2)その他 特になし</p>
3 閉 会	<p>次回は1月20日(月)となっている。</p>

